

国際防災・人道支援 フォーラム 2022

International Disaster Reduction Alliance Forum (DRA Forum 2022)

防災・災害情報と避難 ～地球温暖化への適応

日時 令和4年(2022)年
1月26日(水) 13:30～16:30

場所 神戸ポートピアホテル「偕楽の間」

会場定員 **70名** 参加費無料、日英同時通訳

※「YouTube」配信も実施予定

2021年8月に公表された気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の最新の報告書でも今後地球温暖化の進行に伴い、世界の多くの地域で大雨の強度・頻度が増加するとされており、洪水・土砂崩れなどの住民の生命に関わる自然災害の発生リスクが一層高まると考えられます。日本では、防災・災害情報や避難を促す仕組みの改良を重ね、日々、努力を積み重ねてきましたが、住民の避難行動に結びついていないとの指摘があります。

そこで、今回のフォーラムでは、専門家・実務者が集まり、海外からの論者にも事例を紹介してもらうなどして、新たな災害環境を踏まえた「防災・災害情報と避難～地球温暖化への適応」をテーマに議論し、災害多発・防災先進国・日本の責務として、国内外に発信します。

プログラム(予定)(敬称略)

13:30～ 開会あいさつ

五百旗頭 真 国際防災・人道支援協議会(DRA)会長、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構構理事長
齋藤 元彦 兵庫県知事
村上 威夫 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発・連携担当)

基調講演①

「水災害への
気候変動影響と適応」



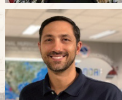
中北 英一
京都大学防災研究所 所長

基調講演② 「防災・災害情報と避難—米国の事例(仮題)」

ジョーリン・ジュベラ
アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁(FEMA)
危機管理専門官



ブランドン・ボリンスキー
アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁(FEMA) リージョン4
ハリケーンプログラム・マネージャー



マニー・トロ
アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁(FEMA) リージョン4
応急対応部長



パネルディスカッション

「防災・災害情報と避難のあり方 ～新たな災害環境を踏まえて」

《ファシリテーター》河田 恵昭 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会委員長、人と防災未来センター長
《パネリスト》中北 英一 京都大学防災研究所所長
片田 敏孝 東京大学大学院情報学環 特任教授、日本災害情報学会会長 (防災教育の視点)
矢守 克也 京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授 (住民啓発の視点)
木俣 昌久 気象庁気象防災監 (我が国の防災情報発信実務の視点)

～16:30 総括・閉会

河田 恵昭 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会委員長、人と防災未来センター長

※基調講演②はオンラインを予定

写真提供：DRI

参加方法

① 会場での参加をご希望される場合

人と防災未来センターホームページからお申し込みください。

<https://www.dri.ne.jp/pickup/forum/forumentry/>

※定員70人に達し次第、
募集を締め切ります。

[会場参加申込フォーム▶](#)



② YouTubeでの視聴をご希望される場合

当日、人と防災未来センターホームページから、YouTubeでの同時配信をご覧ください。

※詳細については、人と防災未来センターのホームページよりお知らせします。

新型コロナウイルスの拡大により、プログラム変更、会場参加の中止等の可能性があります。予めご了承ください。

※会場参加の場合はマスクの着用をお願いします

人と防災未来センターのホームページ <https://www.dri.ne.jp/>

Please visit the DRI Web site [<https://www.dri.ne.jp/>] for the registration.

主催 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会

問合せ先 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会事務局

兵庫県、人と防災未来センター、アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)センター、アジア防災センター(ADRC)、神戸地方気象台、地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター、ひょうご震災記念21世紀研究機構(Hem21)、国際防災・人道支援協議会(DRA)

(人と防災未来センター普及課内)
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 西館6階

後援 朝日新聞社、神戸新聞社

電話:078-262-5066 FAX:078-262-5082

